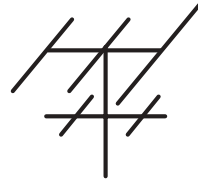


子育てチャンネル



子どもの笑顔は力の源

幼児センター未満児主任

山方由美子

YUMIKO YAMAGATA

現在、幼児センターには22名の園児が在籍しており、朝の7時30分から夜の7時までセンター内は元気な子どもたちの声が響き渡っています。

今は秋から冬への季節の変わり目。一雨ごとに園庭の木々の葉っぱが落ちて、子どもたちは自然物を集めて遊びに利用したり、寒さに負けず戸外に出て体を動かして遊ぶ姿は大変たくましいですよ。

私は、センター開設以来ここで働かせていただいておりますが、今年度初めて3歳未満児の担当となりました。

未満児は私にとっても久し振りで4月当初は、戸惑いやワクワク感でいっぱいでした。

小さい子ほど新しい環境や保育者になかなか馴染めなかつたり……。

登園時には保護者との分離がスムーズにできず泣いてしまったり、ついて離れなかつたり……。保護者の方々には後ろ髪をひかれる思いでいっぱいだと思います。

そんな子どもたちに私たちはたくさん言葉をかけ、抱っこをしたり、一緒に遊び安心できるように優しく接していく。そうやって子どもたちとコミュニケーションをとり、信頼関係を

築いていきます。

3歳未満児は生後6ヵ月から入園可能で0歳児・1歳児・2歳児のクラスに分かれています。朝と夕方の時間帯は0・1・2歳児が入り混じり異年齢で遊んでいます。

ブロック・お人形・ままごと・汽車など好きな遊びを見つけて遊びますが一人遊びだったり、気の合う友達数人との遊びだったり、保育者との遊びだったり様々です。

0歳児は言葉で思いを伝えられないため泣いているいろいろなことを訴えてきます。「お腹すいたかな? オムツ汚れているかな? どこか痛いかな?」などいち早く気持ちをくみ取り対応していく。

そうやって毎日繰り返し接することで「笑顔」で答えてくれる。やがて誕生日を向かえ歩行できるようになる。保護者は勿論ですが、私たち保育者も感動と喜びを一緒に味わう瞬間です。

1・2歳児は言葉も徐々に増えて行動も活発になってきます。同時に喧嘩などのトラブルも増え「押す・叩く・かっちょく・噛む」などの行為も毎日のように見る光景です。

その都度、個別に話をした

り、時にはクラス全体に投げかけてよいこと・悪いことを気付かせています。

一度言っただけではわかりません。何度も何度も繰り返し伝えていくことが大切です。

幼児センターでは4つの保育目標を掲げ、その目標を達成するために各年齢ごとに年間の指導計画をたて、そこから月案・週日案・個別指導計画・個人記録などを作成して、日々の保育を行っています。

年間を通して、たくさん行事があります。1つの行事を行うときも実施計画を立て、年齢にあった「ねらい」にそって活動をしています。

子どもたちはいろいろな経験をすることで自信へとつながり、ひとまわりもふたまわりも大きく成長していきます。

あわせて、私たち保育者も資質向上のために、外部や園内の研修に参加したり、職員間が共通理解がもてるよう職員交流や諸会議等を開催して保育に生かしています。

子育ては大変難しい。家庭でのしつけもとても大切です。「親任せ」「保育者任せ」にならないよう保護者と保育者がしっかりと連携をとって子どもたちを育てていきましょう。



幼児センターの子どもたち22名、一人一人名前が違い顔も違う。性格だって違います。22通りのかかり方があると思います。

その子にあったかかわり方ができる保育者目指しこれからは努力していこうと思います。

保育者経験の長い私ですが、まだまだ未熟者。失敗も数多く、悩んだり落ち込んだりすることもよくあります。

でも毎日、『子どもたちの笑顔』を見てると力がわいて元気になれます。

これからも子どもたちの笑顔でパワーアップしていきます。